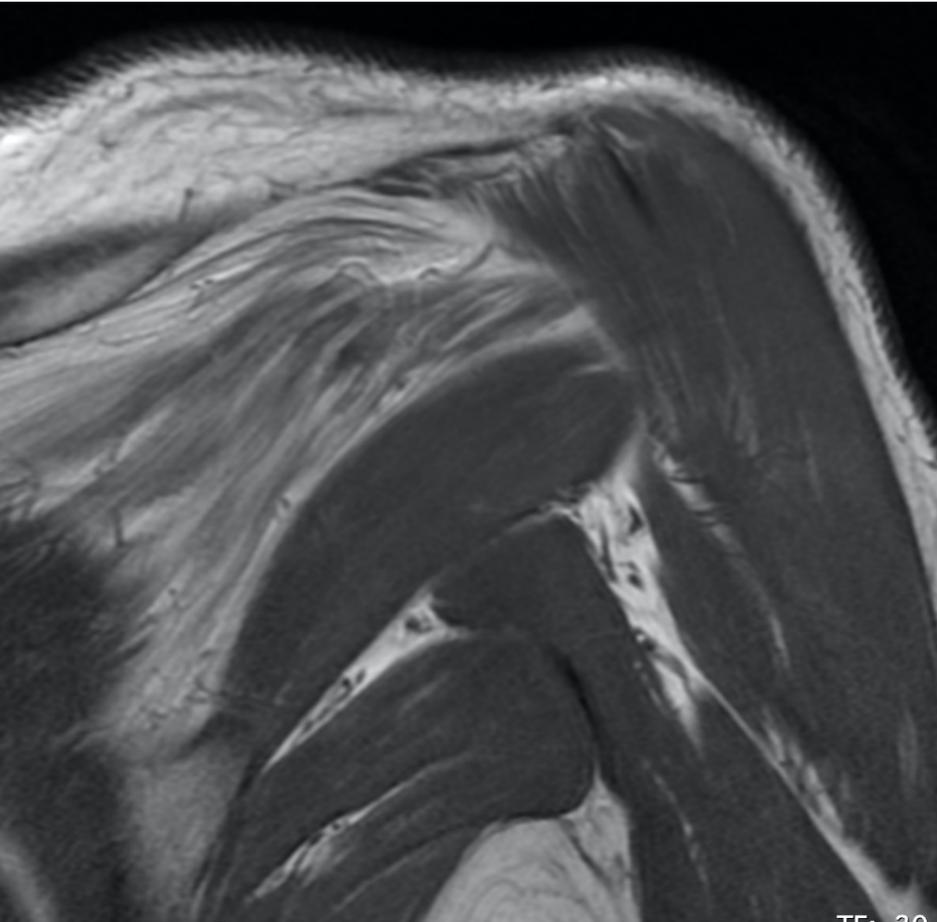
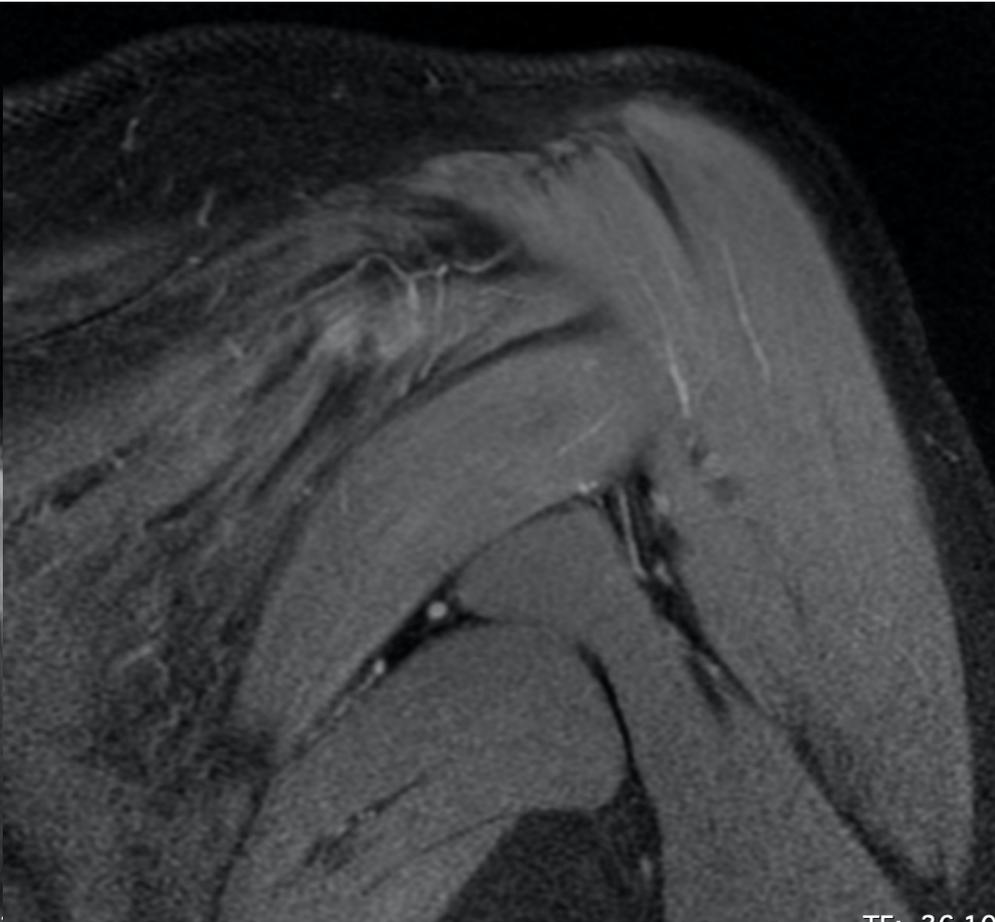


Q1 40歳代男性 1年前からの外転障害にて
整形外科から肩関節MRIの依頼。

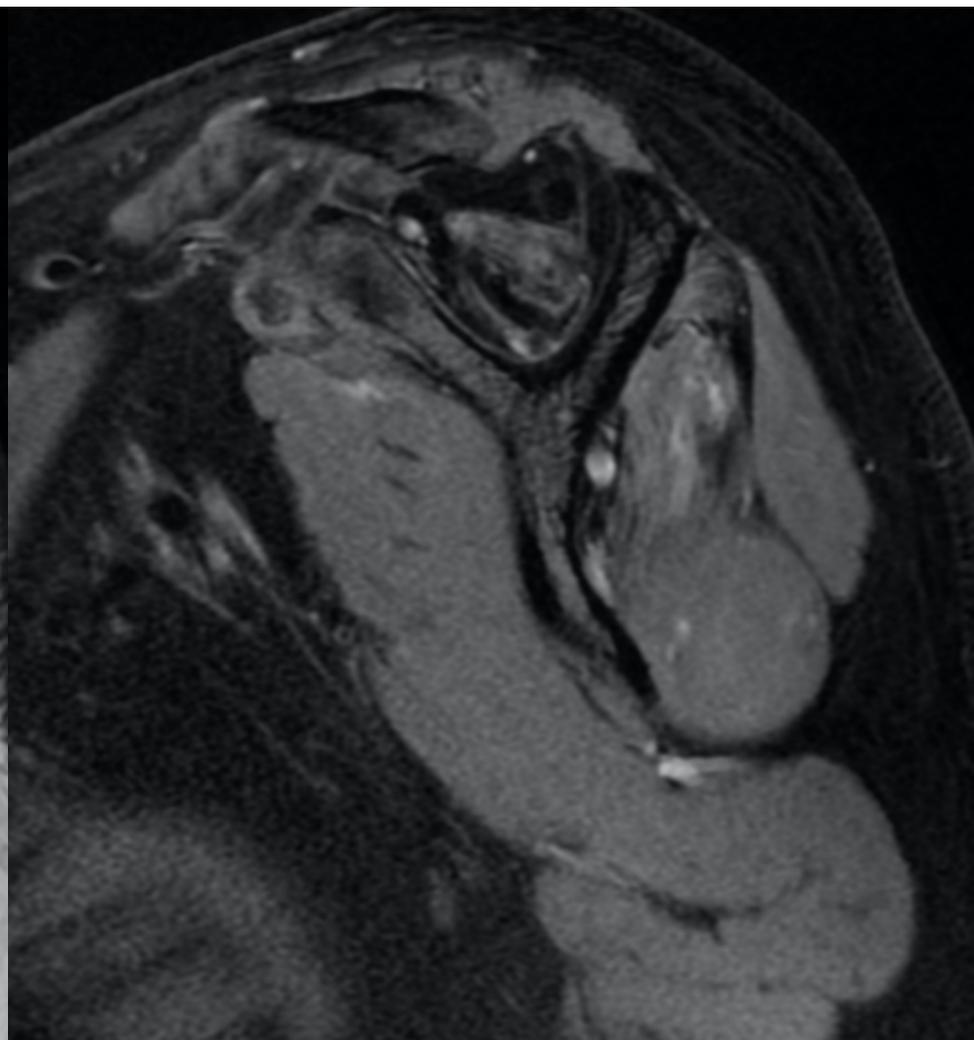
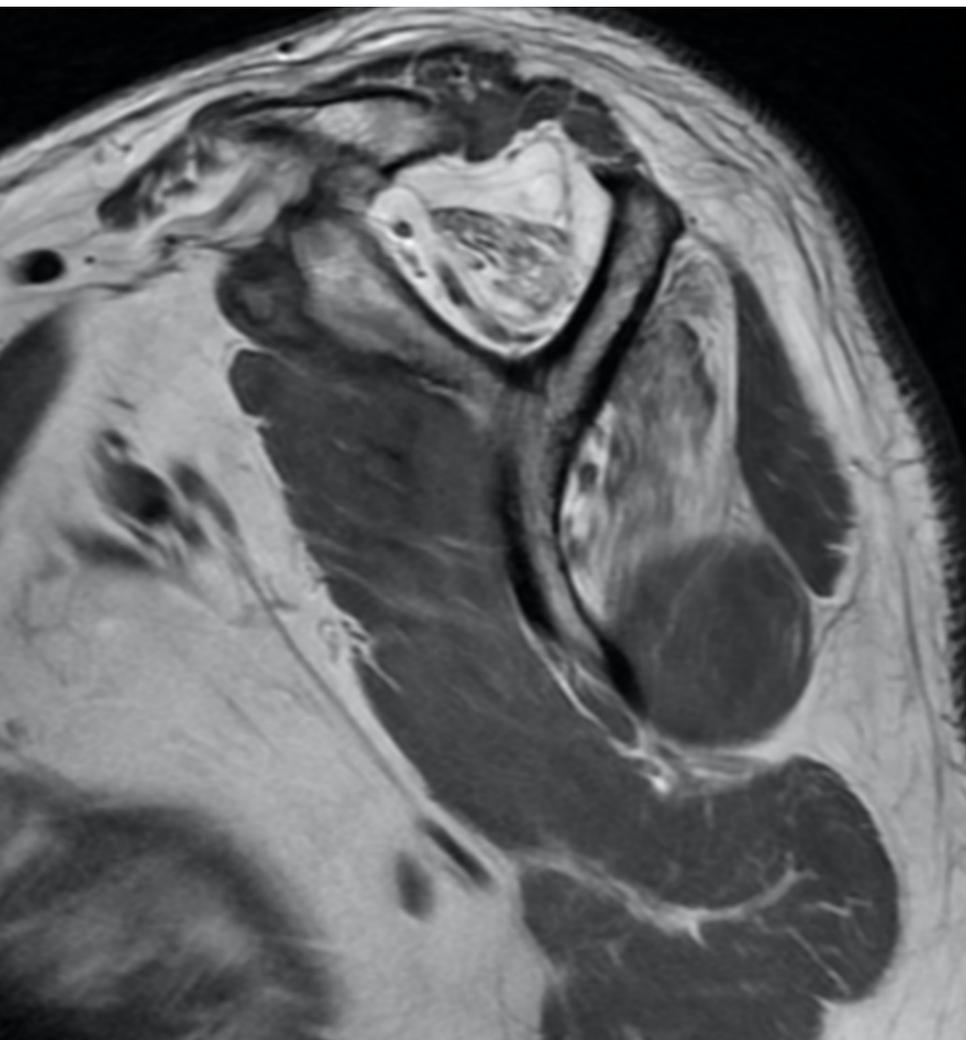




TE: 20



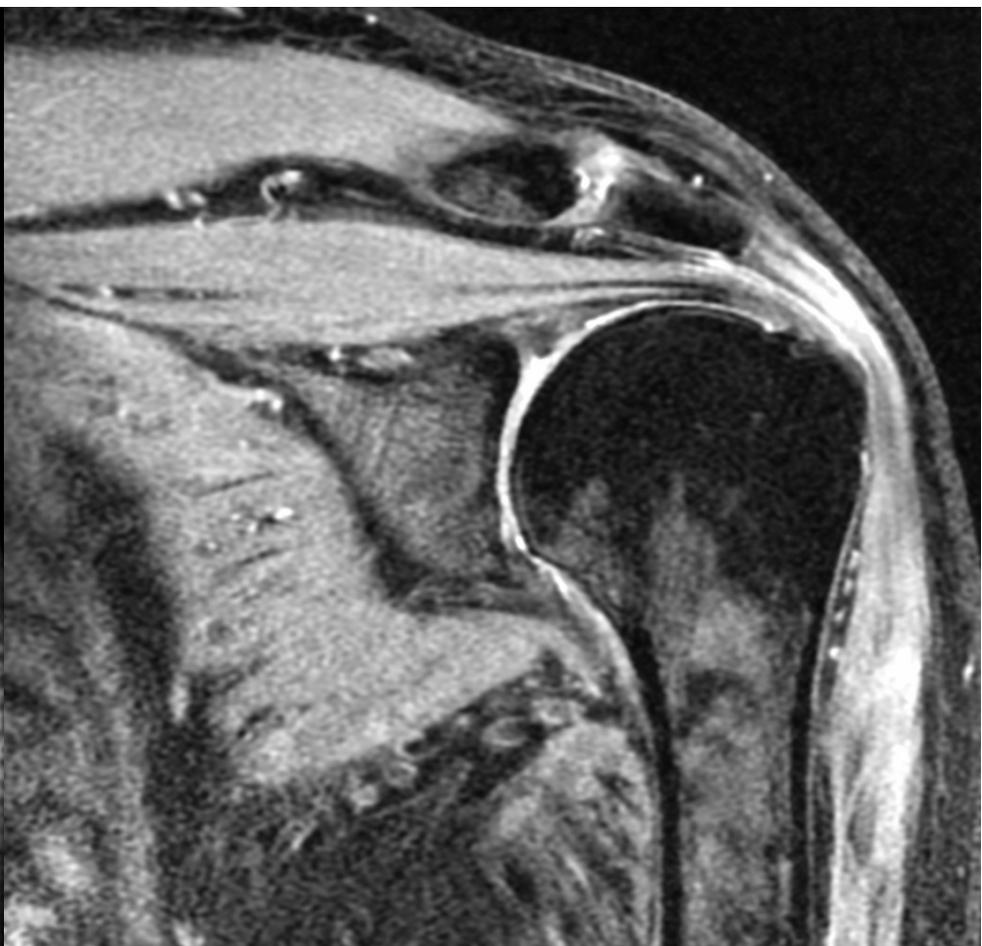
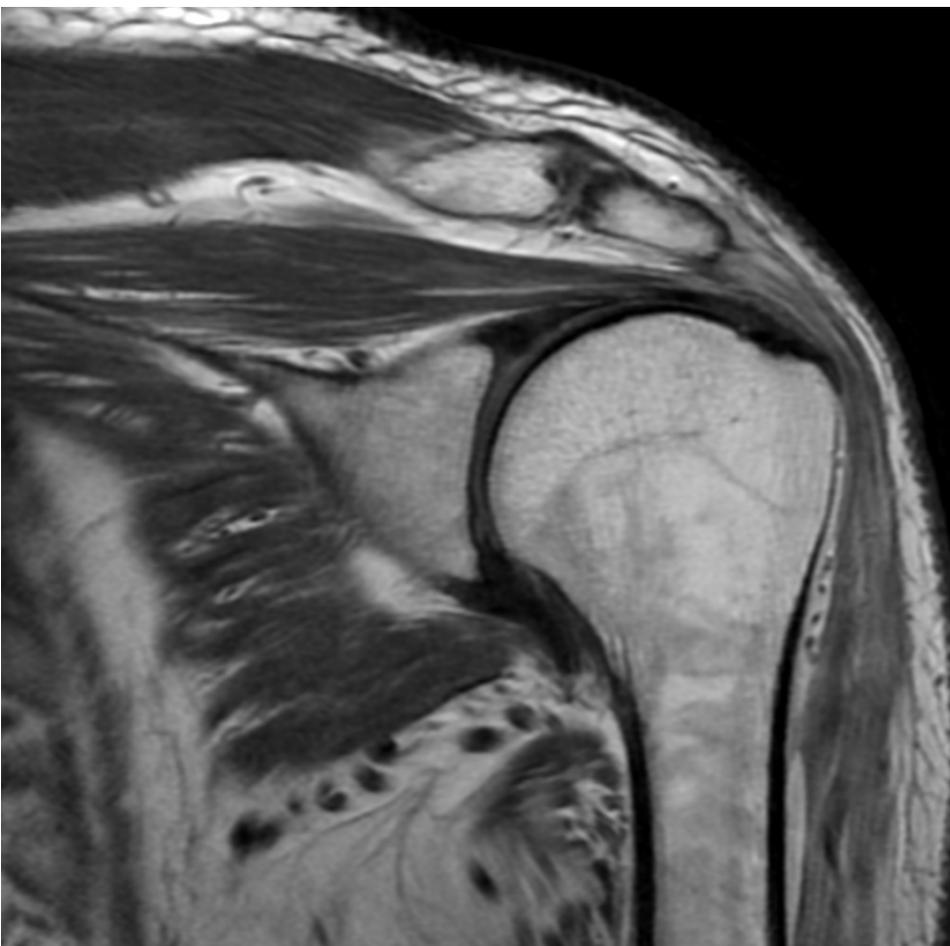
TE: 26 10

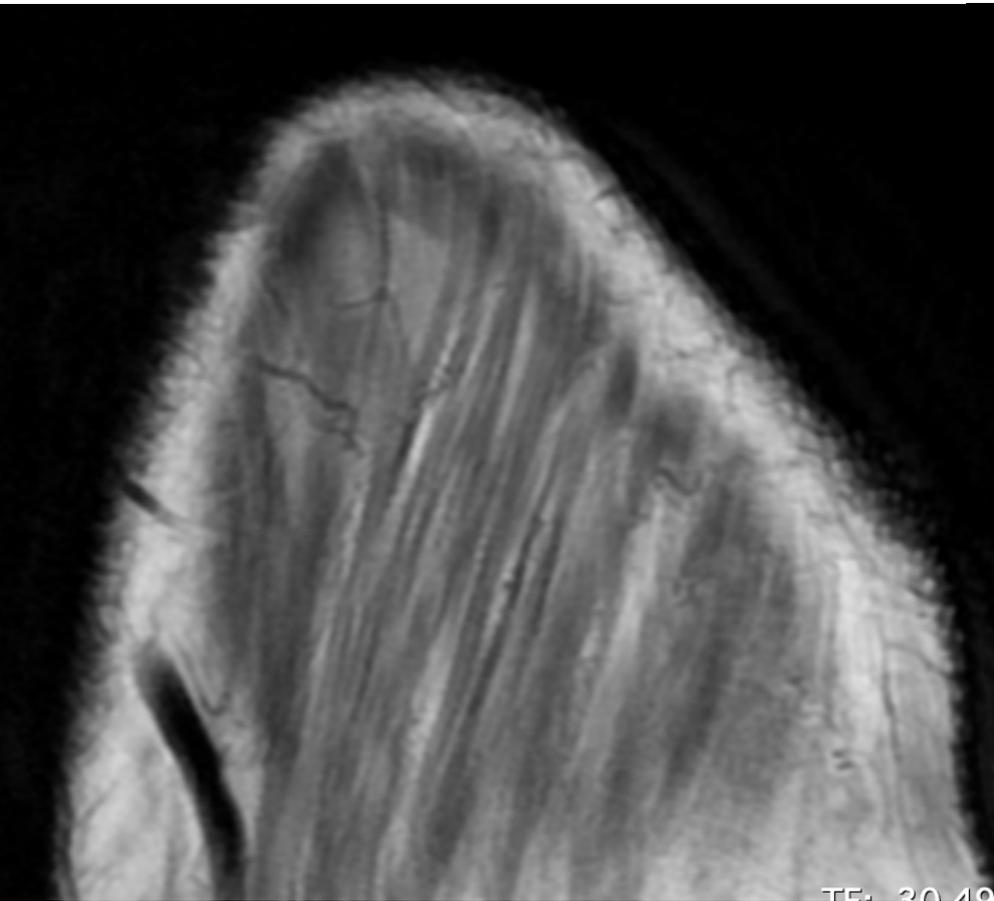


Q1 誤りはどれか。ひとつ選べ。

- a. 肩甲上神経の障害である。
- b. 神経伝導速度検査が有用である。
- c. 頸椎MRIは必要である。
- d. 傍関節唇嚢胞が原因となりうる。
- e. 対側にも同様の変化を生じている可能性が高い。

Q2 60歳代男性 2年前からの外転障害にて
膠原病内科から肩関節MRIの依頼。

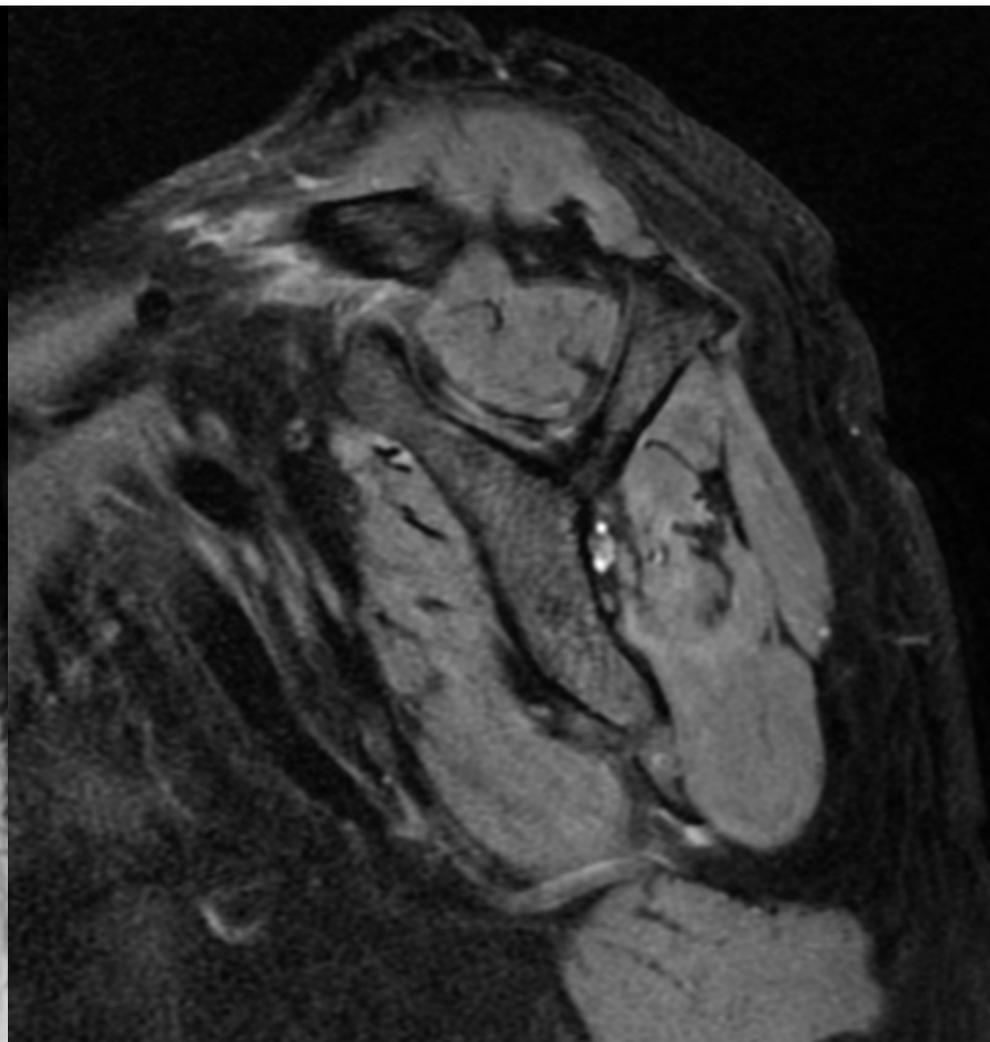
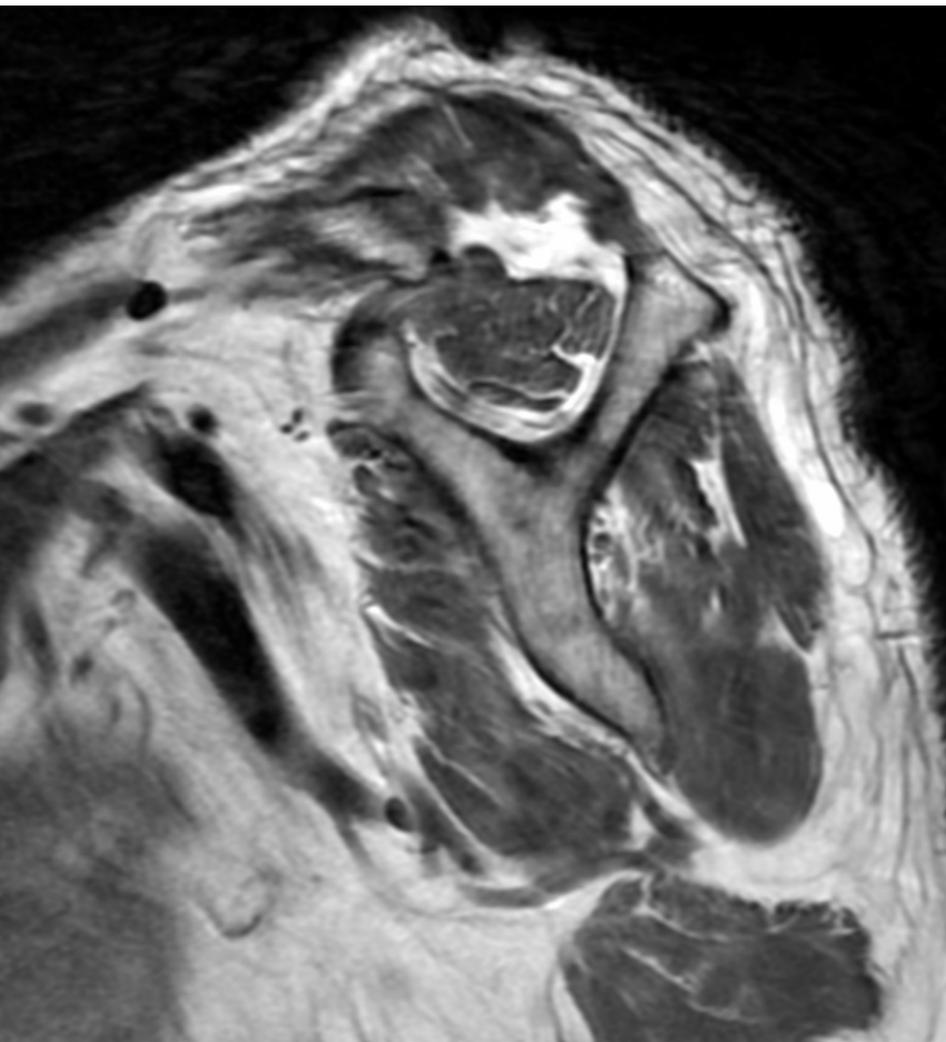




TF: 30 49



TF: 30 32



Q1 正しいものはどれか。ひとつ選べ。

- a. 肩甲下神経の障害である。
- b. 神経伝導速度検査は必要ない。
- c. 頸椎MRIは有用となりうる。
- d. 次にすべき検査として筋生検をすすめる。
- e. 症状の原因は腱板断裂である。